

旅だより（4）

「交わりを育て、交わりで育つ」

黒田 朔



今、ロスにいる3人の子供たちを訪ねる旅も終わりに近づき、阪南での生活を思う。子供たちはお互いに1時間くらいで行き来できる所に住み、折々に集まり、楽しみ、助け合っている。ジジババを迎えて、宿を決め、2泊3日の旅をし、子供たちの学校の予定に合わせて集まり、長女の誕生日を祝う。全てを上手に分担し、日常生活の中で無理なく進める様子に、これが日本を離れ、助け合い、変化せざるを得なくなった現実の中で、工夫しながら見つけ、作り上げてきた子供達の日常生活なのと思った。

阪南での生活に戻ろうとしている今、高齢化により変化する生活の場で、上手に変化を受け止める生活作りの工夫が出来ればと思う。先ず、私たちは神の家族だと言う心の繋がりを確かめ、日頃から交わりを密にし、都合に合わせて訪ね合い、交わることの便利さや楽しさの味をしめる。

「子どもたち。私たちは、ことばや口先だけではなく、行いと真実をもって愛しましょう。」（Iヨハ 3:18）との聖書のことばに励まされ、今の私達、阪南バイブルチャペルの実力に応じた「交わり作り」が出来ればと思う。そのためには、相手の気持ちを上手に汲む、言い換えると、「厚かましいのでは・・・」と遠慮しすぎないこと・・・お互いの立場や状況を組み合せて、「やっぱり、HBCのファミリーはええなあ」と言える交わりを育てたいと思う。朝、6時半、まだ暗いロングビーチ空港で家族に見送られ、ジジババはHBCの交わりを思いながら帰路につきました。